日米

The JAPANESE AMERICAN NEWS
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONE FRANKLIN 3311
ENTERED AT S. F. POST OFFICE AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENTS

最良醤油 ヤマタクヤマ

日米

天長奉祝

今廿九日は、畏れ多くも、今上陛下の御降誕、滿五十年に當らせられる、今日は畏きことながら、今上陛下には、御祖父明治大帝の御英邁の資と御父先帝陛下の御寛宏の資とを承けさせ給ひて、聖文神武にわたらせ給ふ、大統をつがせ給ひて早くも六年、皇運隆々、國威は世界に輝き、遠く海外に在る我れ等臣民も弥しく御聖德を仰ぎ奉る、今日の佳日を迎へて天上無窮を祝福し竹の國の彌榮ゐまさんことを祈り奉る

訪米飛行

報知新聞社主催の訪米飛行即ち吉原飛行士の北太平洋横斷飛行計畫は其後、準備が着々進捗し既に東京で送別會まで催されるし一方、その下準備のため奈良良氏が先便として來朝し、近く赤澤、内藤、報知記者が來朝する又北方に當は報知社を代表せる清澤氏が一昨日バンクーバに着き着陸地點の準備に忙殺されてゐる報知社から送られた飛行航路圖を見ると、北太平洋は、霧、まず安達氏が一人、内相の訓示をもつて始まり、各局長はそれぞれ支持事項について訓示があつた、安達内相は、新聞紙法の取扱ひ、其他の後援の下に歡迎會や講演會を催す計畫が出來てゐるが、そればかりでなく着桑當時に在り米同胞の深いものであるから、殊に桑港では、此の壯擧に對し大いに歡迎の意を表するやう今から準備せねばならぬ。既に桑日會では主となつて兩新聞社其他の後援の下に歡迎會や講演會を催す計畫が出來てゐるが、そればかりでなく着桑當時更に出來得るだけ白人方面から歡迎せしむるやう手配が必要である。北太平洋横斷飛行は今回が初めてゞなく從來既にレコードはつくられてゐるから珍しくもないと云へばそれまでだが、日本人の手で日本製の機械で飛ぶといふことは破天荒のことである、而も此の飛行の使命たるや日米親善と在米同胞の福祉にあるのだから非常に意義の深いものである。殊に在米同胞が生んだ第一飛行士が三大陸横斷飛行を完成した時、故國の朝野が暴つて熱誠をこめて歡迎して與れた、これは東京のみでなく在米同胞の名譽であつたのだから今回の御禮返しとして在米同胞は翼手をあげて歡迎せねばならぬ、況んやその使命たるや前記の如き重大な意義をもつに於いておやである。

殊に陛下近來御健康よく勝れさせ給ひ、御政務に御學問に益々勵ませ給ふも承はり、吾等臣子の感激に堪へざる所である。

行政整理の結果 無任所大臣生れん

二、三省の廢合を免かれまい 相當撤底的に整理

（東京廿八日電通）政府では今回の行政整理は相當徹底的なる範圍において行ふべく民間の有力者の整理に關する意見を徵してゐる、何れも省の廢合を唱へてゐるもので政府でも二、三省の廢合はやむをゝらずとしてゐる、されば廢合された省の大臣の處置については二、三の無任所大臣を生ずるに至るべしと見られてゐる。

極左分子の取締

道路改修を起して失業救濟に資する事等 地方長官會議第二日

（東京廿八日電通）地方長官會議第二日目は今朝九時十五分師團の途廿七日當地通過五月一日東京着の豫定ギー駐在大使佐藤尚武氏は賜暇百三十萬七千三百五十六ルーブルを露國通商代表に外債買いれの形式で納入査證交附を依頼定、なほ本年度借款料前期分三

（東京廿八日電通）安達内相訓示

民政黨の意氣

政友壓倒計畫

（東京廿八日電通）民政黨では若槻内閣出現のため沈滯せる空氣を一新、今秋の府縣會議員選擧には政友の地盤に侵入して地方議會にも中央同樣の勢力を扶植せんと意氣こんでゐる

漁業會社

遂に三十二錢五厘を認める

（東京廿八日電通）日魯漁業會社は昨日午後一重役會を開催、日露漁業換約に關して當業者の對策を協議、その結果一ルーブルを三十二錢五厘と認めおいて開催の稅關長會議に諮問された關稅改正に對する答申は左の通りである

稅關長會議

（東京廿八日電通）大藏省に

稅制整理

方針大體決定

（東京廿八日電通）大藏省では稅制整理準備委員會に附議すべき主要案作製のため、昨午後五時青木主稅局長外關係官出席し左のごとき整理方針を決定

一、租稅額は大要現行の稅額を動かさぬこと

一、行財政の整理による歲出の節約程度を見あはせをつけること

一、間接國稅を輕減すること

一、鑛山稅、鑛業稅は出來るだけ地方に移讓をなすこと

一、煙草値さげも出來るだけ實現すること

叡明に渡らせ給ふ

天皇陛下

第三十一回の御誕辰

（東京廿八日電通）天皇陛下は明廿九日をもつて第三十一回御誕生を迎へさせられ、陛下最近は御健康一層勝れさせ給ひ政務に御精勵、かしこき極み御餘暇には專ら玉體の御鍛練遊ばされ、又一方に一學徒として科學御研究所で眞理の探究にいそしまれてゐる、目下は珊瑚の御研究を始められた、陛下は御親らタイプライタを叩かせ給ひ、カードの御整理遊ばすが、その御眞摯な御研究の態度は側近者感激措かざるところであるといふ

航空研究

大建築成る

陛下臨御の下に竣工式 七年越の大工事

（東京廿八日電通）東京帝大の伊藤飛行機製作所で目下作製中の「ユンカース」式大型飛行機は去廿日午後一時半に天皇陛下臨幸のはず、研究所は誰でかねて調停に乘り出したがさら

餓死同盟惡化

警視廳調停効を奏せず

（東京廿八日電通）淺草區日

臺灣事件

責任問題擡頭か

（東京廿八日電通）臺灣蜂起人の暴動事件に關しては事件發生を豫期しながら味方番のさりしまりを嚴重にせず、貸與した銃器を速かに引きあげなかつたは明かに總督府の責任問題、引いては原拓相の責任なりと政友會や上院方面ではこれが糾彈をする事ならんといふ

餓死同盟逐に內輪揉め

校長恐れをなして四名退學處分

（東京廿八日電通）東京帝大の

天長節日米交換放送

太平洋沿岸時間朝五時十五分

（東京廿八日電通）既報のごとく天長節放送豫定通り、明廿九日午後十時十五分を期して日米兩國の間に交換さる

滑走機の冒險飛行

七月一日富士山で

（獨逸カツセル廿八日電通）飛行家ヘンシエルは本日當地飛行場でグライダーを操縱中久十一時間一分の新記錄を造つた、日本グライダークラブ教官一等飛行士片岡文三郎氏は今回鈍國產の完成紀念として富士山八合目の實永山頂をパックに世界最初の冒險滑走を行ふ計畫である

これに使用の滑走機は宮崎技師設計の最新式機で千葉縣津田沼

三田稻門野球

（東京廿七日電通）三田稻門野球戰は昨日午後二時半戸塚球場において三田軍＝水原、上野、小川、稻門＝山田、福田、伊達、伊丹の陣容をもつて戰ひ二十對九で三田雪辱

東京各大學 野球聯盟

組織一新さる

（東京廿八日電通）東京にお

人間濱口さん

開日月を樂しみ 新聞を取讀する

（東京廿八日電通）總理大臣の椅子を擲つて、人間濱口に還原した濱口さんの今日此頃、まことに伸びやかに朋らかな心持で一路同春への道を辿つてゐる、最近は體溫、脈搏等すべて健康時代と變らず、朝は六時ごろにさめ、新聞を取讀し、時に夏子夫人や側近者に冗談なご語つては笑はせてゐる、二週間の豫定で入院したが開日月をたのしむ身となつた今は別に退院をあせらず、一切萬事鹽田博士に任せてゐる。

臺灣蜂起人

（東京廿八日電通）臺灣蜂起人の暴動事件に關しては事件發生を豫期しながら味方番のさりしまりを嚴重にせず、貸與した銃器を速かに引きあげなかつたは明かに總督府の責任問題、引いては原拓相の責任なりと政友會や上院方面ではこれが糾彈をする事ならんといふ

餓死同盟惡化

警視廳調停効を奏せず

（東京廿八日電通）淺草區日

滑走機の冒險飛行

三田稻門野球

東京各大學 野球聯盟

組織一新さる

濱口氏の光榮

（東京廿八日電通特電）倫敦會議にかゝる濱口前首相の功勞を嘉みせられ旭日桐花大綬章を、天長節の佳節を期して御下賜あらせらる旨御沙汰あり。

鈴文立候補斷念

（東京廿八日電通）宮城縣第一區補缺選擧には鈴木文治氏がプロレタリアを代表して勝敗を論ぜず出馬するはずであつたが資金缺乏のため立候補斷念のみなし

朝鮮瀕船危險

（東京廿八日電通）朝鮮木津

秘密

裡に當局が調査し

見せてやつて、もし感心したら、フンと鼻の先で笑つてやるくらゐの氣持をいつも保つてゐるこたた方が、白人々々がつ一するよりよつぽどい

（四月廿八日）

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.
415 Sansome St. San Francisco, Calif.

謹告
チエツク アツカウントノ事
横濱正金銀行ハ外國銀行デアルノニ チエツク アツカウント（小切手勘定）ガ開カレマスカトノ御質問ヲ受ケル事ガ時々アリマスガ當店ハ今カラ四十五年前即チ明治十九年ニ開始イタシマシタノデ現行加州銀行法ガ凡テ外國銀行ニ弗預金ヲ禁ジテ居ルニモ關ラズ當店ハ既得權トシテ弗預金ノ受入モ出來、チエツク アツカウントノ御求メニモ應ジ得ルノデアリマス近來皆樣ガ御利用下サルノデ口數モ金額モ激增シテ居リマス、市內ノ方々ハ勿論遠方ノ方デモ金額ノ大小ニ係ラズ郵便ニテ御入金ガ出來マスカラ精々御利用願ヒマス（上段ノ當店アドレスヲ切リ取ツテ封筒ニ貼テ戴ケバ御手數ガハブケマス）
横濱正金銀行 桑港支店

THE SUMITOMO BANK, LTD.
Branches { 200 S. San Pedro St., Los Angeles, Calif. / 315 California St., San Francisco, Calif.
THE SUMITOMO BANK OF CALIFORNIA 400 L St., Sacramento, Calif.
內地支店 東京、橫濱、名古屋、京都、神戸、廣島、門司、小倉、尾道、廣島、柳井、下關、岡山、呉、若松、博多、久留米、熊本
桑港支店 桑港チヤルスヒツチ街一五 電話ゲーフイルド二〇一六
羅府支店 羅府南サンピドロ街二〇〇 電話ヌタカー八一一六
加州住友銀行 桑港エルド街一〇七八 電話メイン一〇七八
株式會社 住友銀行
本店 大阪市北濱五丁目
資本金 七千万圓
總預金 六億八千萬圓
本國預金 海外定期 年利四分二厘 通知預金 六ヶ月毎に利子計算 日歩八厘
◆營業案內 預送金申込用紙御入用其他何事に依らず御用命の節は遠慮無く御通知下さい
郷里送金 取扱迅速一事（無手數料）

株式 公債 社債
THE FUJIMOTO SECURITIES COMPANY INC.
藤本証券株式會社
藤本ビルブローカー銀行
本店 大阪、支店所在地 名古屋、神戸、門司、横濱 京都、金澤、福島、岡山、廣島、福岡
藤本銀行姉妹會社
桑港 405 California St., S. F. Telephone Garfield 2728
紐育 120 Broadway, New York City
桑港支店羅府出張所 258 E. 1st St., Los Angeles Telephone Mutual 5896

新古家具賣買 SK家具合資會社
桑港 グリー街一六〇五 電話 ウエスト四三二七

高橋眼鏡店
1600 Post St. WAlnut 4494

五月人形
牛若が强い辨慶を弱くした金太郎さんに桃太郎さんの登場致し英雄的である清正の虎狩江戸ッ子は五月の鯉の吹き流し現代人をして舊日本の時代觀へた坊ちゃん方の節句用品一式は是非當店へ
——（目錄進呈）——

北米の五車堂
TEL. WEST 5488, 1698 POST ST., S. F., CAL.

株式公債賣買業
公認 日米證券株式會社
811 California Street, San Francisco, Calif. Tel. GArfield 3007
Suite 871 Robert Dollar Building

◇羅府ホテル案內◇
羅府北サンピドロ街一一七
オリンピツク ホテル
117 N. San Pedro St., Tel. MUnual 9869
出入國手續……切符取扱……親切第一 清潔……勉强……日本風呂……日本人街中心
ニューパレス ホテル
118 Weller St., Tel. MAdison 6486
羅府南サンピドロ街一二一
太平洋ホテル
主人 鈴木眞吳
ルーム代大勉强 各賓館切符迅速に取扱ひます
室內大改善＝清潔＝サービス本位
ニューヨークホテル
羅府東二街三〇五 電話MA（マヂソン）四六九六
親切丁寧第一に出入國の手續を致します
羅府北サンピドロ街一一七〇六番
トモエ ホテル
206½ S. San Pedro St., Tel. MUnual 0701
清潔……親切……昇降機あり
HOTEL FEDORA
フエドラ ホテル
335 E. 2ND STREET TEL. MADISON 4985
各室湯水附人浴洗面御隨意ケチン御使用の便あり
◇完備せる客室＝全部電話付＝桑港ラグナ街一七〇一

日本御料理 小川ホテル
612 California St., San Francisco, Calif. Tel. DAvenport 1816
◆日本行賓船切符申込みに應ず
理想的の設備 第一流ホテル
新電話 ウオルナツ二〇〇〇
カフエ ナニワ

鮮魚、精肉鳥、野菜類
アメリカン魚市場
桑港 ブヤヤナン街 一八三六
電話ウエスト七八九九

迅速誠實 通信取賣
大春堂
THE TAISHUN-DO
1423 KERN ST. FRESNO, CALIF.
五月節句 キング
石田三成 浜六全集 一〇〇
肺病は駄目 中村善雄著 一二〇
子規全集 すれば治る 改造社出版 一〇〇
炎を踏む女 三上於菟吉著 一〇〇
戀と地獄 一〇〇
朝日評論 倶樂部 講談 富士民論 歌謠曲集 山田耕作著 二〇〇
舞臺寫眞帖 近代劇全集 二〇〇
裸體美人畫集 一冊 廿五仙
講談全集 剃刀大臣 他一〇〇 一冊 廿五仙
鯉幟 各種

端午節句 五月五日
掛軸 一尺ヨリ 一円五〇錢
鯉幟金時 一尺ヨリ 一円〇〇錢
鯉吹流し 一尺ヨリ 一円〇〇錢
外小道具一式目錄進呈
武者人形 一尺ヨリ 一円〇〇錢
座敷幟 一円〇〇ヨリ 一円七〇錢
枠立鯉 一尺ヨリ 四〇〇錢
吉木大成堂
1656 Post St., S. F., Calif. Tel. WEst 5361

◇イーストマン特約店
◇寫眞機、活動寫眞機
◇各種及び材料品
桑港 ポスト街 一六三九 電話フィルモア五二二五
瑞穗商會

メーン ホテル
特別「旅行者レート」シモスリーレートの便あり
櫻府第六街マM街 電話メーン八六一〇

CALIF. STATE LIBRARY SACRAMENTO, CALIF.

安達裁判長以下 老人揃ひの會議

目下ヘーグで開催中の 國際裁判所傍聽記

國際裁判所は目下ヘーグにおいて開催され世界各國の代表裁判事が審議をつゞけつゝあるが、わが安達峰一郎氏が裁判長として始めてのものだけに注目された所本日ヘーグ特派の合同通信記者ラーク氏は左の電報をもつて傍聽記をしてゐる。

人間、言語、風俗の異つた裁判所、その點だけでも國内の普通裁判所とは少し違つた空氣である。判事は十英語を話す者は米國ケロッグ判事と、英國ハースト判事のみ、他はみな佛語である、ハースト判事が英語で質問するに對し安達裁判長は佛語で答へる

フロッジョリー佛國判事の發言に對しケロッグ判事が英語で答へる等なさ他ては見られぬ珍風景、個人個人についてみるに安達裁判長は正面の大椅子に小さい體を半分埋めて、黄褐色の顔面、ごま鹽髪、クシャ〜としかつけて物言はいふまゝ、古き日本の分をそのまゝ。

裁判長たるサルバドルのグエレロ博士は白髪白髯、長い間歐洲外交界を泳ぎまはつただけに意味のある樣でないやうな微笑でスペを片づけやうとする典型的前世紀の外交型、ハースト判事は屬官には「セシル卿」と自分を呼ばせて英國風に、もつたい振つてる、佛判事フロッジョリ氏はもつとも熱心に自分の職責を果たすべく判事就任後すぐヘーグに來てずつと勉強してゐる奮學家

米國ケロッグ判事は 佛語で答へ

前任者ヒューズ氏に比し元氣なく佛語を話せぬことがこの人を臨病にさせ、もぐらもちが日にさらされたやうな格好單に判事の椅子についてゐるといふに止まり多分何も仕事は出來ぬであらう。さに角國際裁判所は老人の集まり、居眠りと、探の話と、アクビ以外には國際裁判所は他に何ものをも殘さぬであらう。

安達裁判長は 佛語で答へ

米國ケロッグ判事は

さすがのヤローも 三千弗支拂ふ

マンビューの野田氏衝突事件

ヤロー自動車が日本人を轢いたことは今に始まらぬが、從來同胞の多くが泣き寝入りか、精々千弗以下の少額の損害賠償で示談にすませてゐたが、去る一月ウッテンビューの三重驛人野田岩吉氏の自動車に衝突した事件は新聞業の法律事務所小笠原鎌三氏を通じて桑港都上級裁判所に二萬五千弗の損害賠償を提訴したことは當時本紙の報道したところであるが事件は原告野田氏側の惨敗により九月ごろ開廷さるべき公判を待たずして、示談することになり、去る十曜二十五日交渉まとまり、三千弗を支拂ふことになり同日は完全に原告野田氏の手に入つたが、恐らくヤロー會社が日本人に支拂つた最高額であらう。何せ相手は、名うての裁判手のヤロー、金はうなつてゐて辯護士ベーカー氏をつて應訴したので同廷側はクラング、マッケンジー等桑港切つての名代言をもつて三段の攻勢論陣を張つて公判の日は原告代言は少くとも一萬弗は受らうと意氣込み有樣であつた。從來この裁判は原告たる野田氏は經費としては一文も拂はず、たゞ功績金のみでやつたのだから、依頼者は全然「出さずぶつたくり」であつた

降りたらぬ 黄金の雨

昨年に比し少量

數日來桑港の空模樣ハッキリせずドンヨリと曇つてゐたが二十六日には小雨さへ交じへた程で學校、エンポリアム、オコナマ、ウェブスター、ホワイトハウス、その他衣類品店等が協力して一昨日から「流行を調査する會」をたゝ、その結果、コートはベルトのない黒色のもの、襟はショールの大きいもの、コートの丈は膝下四吋、ヘムラインは中央部で最も長く、ヒップ部は最も短く、袖口は二吋半、ボタンは二吋半、ボタンホールは二吋半、ボタンは二吋半、ボタンホールは二吋半、ボタンは二吋半、ボタンホールは

日本御出發以來 宮様には御健康

御側に奉仕する石川別當の謹話

高松宮殿下の別當として御側近たこはベルリンで下水工事を御奉仕中しあげてゐる石川岩吉氏は昨年四月宮様御一行に供をして旅行を共にしてゐたが日本における殿下の新築御殿ならびに御御殿の際における準備のため來る三十日發淺間丸で御一行に先立ち歸朝することゝなり昨朝羅府經由で來朝し、小川ホテルに投宿した。氏は殿下御一行の御旅行中の動靜に關して左のごとく語つてゐた。

「高松宮殿下御一行は日本御出發以來常に御清健に渡らせられ二週間ロシドンの御滯在を一番ながい期間としての他の國々はいづれも短い御滯在で、しかも各國の皇帝もしくは大統領さいふやうにいづれも元首に御對面になり、その歓暖を御見學になるといふ非常な御多忙な御旅行をつゞけられましたが、一度も御不快のこともなかお側に居るわれ〳〵はその御精力のほどに感激してゐるほどです。

一萬の在留民こぞつて、赤誠を捧げてこゝぶき奉る天長節奉祝のつどひは、ドリームランド、ホールにおいて午後七時より行はれる。大會場は準備係員

石井、松本、尾崎、宮口、沼尻、宮川、岡村、片山、清水、七澤、牧岡、鈴木の諸氏萬全をつくした努力により壯嚴にしつらへられ、ステージは督杉山氏により、樂屋は三藤、後藤、横澤、牧野、菊川、荻の諸氏により、第二式餘興に對する準備がすつかり出來てゐる。開場は夜六時。既報順序により正七時よりをごそかに

第一式は ひらかれ、八時半ごろから第二式開始。在留民の精神をぬいた餘興の幕が切つておとされる。會場整理については桑日會桑港事員、ボーイスカウト、基青會、學生會等の會員が

「今日のよき日は大君の生まれたまひし嘉き日なり」

今日こそは吾等同胞がひとしなに忘れぬ聖上第三十一回の御誕辰の嘉日を、在留民全部が心してめでたく終らせるよう主催側は望んでゐる。

今日のよき日は 天長節—奉祝會

ドリームランドで

第四回

悟りの會

來る三十日に

第四回「悟りの會」は來る三十日（木曜）午後八時からウエスタン街一五二〇で開催する。講演は「佛教と典について」一般の來會を希望する。

ムーデー夫人 映畫に出でず

聖林方面で映畫いりを傳へられたムーデー夫人、さきのヘレンウイルス嬢、昨日歸桑、「活動タル寄附試合をやるため金曜日（一日）午後來桑のはず、同試合女優になんかなりません、素人ばかりでこまるもやつてゆけるジョンスデーグルが組んでもいるとの事。今年はウインブルトンにも行きません」といふ。

報知社の雄圖を 奈良氏が講演

リフォームド教會で

報知新聞社の北太平洋横斷日米飛行の壯擧について、當夜の聰講者に對し、パンフレット「民族發展の第一線に立つ諸君に一を無料進呈するは入場無料。

一ギャロン 九仙以下

瓦斯燐戰激し

ギヤソリン戰は、なほ猛烈さを加へ、三年前歐洲を遊つて止みさうになく、桑港灣東岸にあり人、三年前歐洲を遊つて止みさうになく、桑港灣東岸にあり人、今日には地方では一ギャロン十一仙、十二仙で賣られ、なほ所もあるが、大抵は十仙から十仙といふ安値で賣られてゐる、一方シカゴ戰は全くの激しい混戰狀態にあり、一ギャロン十二仙から十仙に値さげしたのをきつかけにスタンダード石油會社が續いて一仙の値さげをしてセエル、オイルと同値にさげ、シイクレア、オイルは更にこれに對抗して九仙から八仙四分の一まで値さげを斷行してゐる。

桑港案内

旅館組合から

桑港日本人旅館組合は、このたび桑港案内なる小册子を發行し日本からの旅行者及び地方から出桑の人々に便宜をあたへてゐる。同パンフレットは、桑港各名所、交通、重要建物、公共團體のアドレスを詳記し、一讀、更にこれに對抗して九仙から八仙四分の一まで値さげを斷行してゐる。

名古屋コーチン 國を外の譽れ!!

米國東洋艦隊の永兵さん

「メード・インチャパン」卵愛用の事

（東京二十八日合同）太平洋向ふこゝになつたが、當市は桑港シアトル、横濱支那方面ミラー社の本店である關係上同じ桑港の際は大々的なレセプションを行ひ更に艦内を公開して一般入港のクーリッジ號も同樣公開して見せる事になつたが、十月に入港の米國の東洋艦隊の水兵さんたちにも「メード インジャパン」の刻印を押した鶏卵をハム エンドーのあさの半分を「食べさせようこの大變な意氣ごみで 名古屋地方鶏卵同業組合ではまづ本日一萬箇の日本めんどりの手なみを見本として 段ごとに十分今後の商賣になるさいふ、

盛んだつた 防長野遊會

桑港防長人聯合の大ピクニックは去る日曜午前十一時から灣東パークレー市外アルバニーの海岸において催された、午前中は子供の旅取りその他で正午さなるや桑港防長海外協會を代表して三上氏開會の辭をのべ次いで灣東防長人共濟會の藤本氏の挨拶ありたゞちに一同賣食をなし午後はあらゆる競技で賑はひ、あり非常な盛會だつた。

仁熊收監さる

既報の仁熊淺三は兇器威嚇罪にとはれて一昨日收監され昨日スタイガー判事廷で裁判があるは前日ストライキ中であつたが、原告大機某の寄體が惡さうなため延期となつた。

敷地買收 オヂヤンか

基女青新館

基女青評議員會および建築委員會は今日午後一時半よりひらかれる。主要協議は會館問題である。目下のところでは新しい敷地は資金その他地理的關係に

全國農民組合 全滅か

壓迫加はり 一千名檢擧

（東京二十八日電通）左翼派の進出阻止に躍起となつてゐる官憲は內務省の命令で過般來我が國唯一の左翼組合たる全國農民組合員の全國的一齊檢擧を敢行しつゝあり、既に二十餘名の戰鬪的農民組合員の檢擧を敢行わたつて一千餘名の戰鬪的農民を檢擧しその三分の一約三百名を擧げ取締り合法的安維持法等に力を起訴した、最も嶮惡な檢擧は、鳥根、千葉、沖縄で各五十名の被檢擧者

新御殿の 整理の爲

先に歸國する

今回私が御一行から別れて歸國し報知新聞社の北太平洋横斷日米飛行の準備のため桑港に渡らせられ二週間ロシドンの御滯在を一番ながい期間としての他の國々はいづれも短い御滯在で、しかも各國の皇帝もしくは大統領さいふやうにいづれも元首に御對面になり、その歓暖を御見學になるといふ非常な御多忙な御旅行をつゞけられましたが、一度も御不快のこともなかお側に居るわれ〳〵はその御精力のほどに感激してゐるほどです。

一萬の在留民こぞつて、赤誠を捧げてこゝぶき奉る天長節奉祝のつどひは、ドリームランド、ホールにおいて午後七時より行はれる。大會場は準備係員

石井、松本、尾崎、宮口、沼尻、宮川、岡村、片山、清水、七澤、牧岡、鈴木の諸氏萬全をつくした努力により壯嚴にしつらへられ、ステージは督杉山氏により、樂屋は三藤、後藤、横澤、牧野、菊川、荻の諸氏により、第二式餘興に對する準備がすつかり出來てゐる。開場は夜六時。既報順序により正七時よりをごそかに

第一式は ひらかれ、八時半ごろから第二式開始。在留民の精神をぬいた餘興の幕が切つておとされる。會場整理については桑日會桑港事員、ボーイスカウト、基青會、學生會等の會員が

「今日のよき日は大君の生まれたまひし嘉き日なり」

今日こそは吾等同胞がひとしなに忘れぬ聖上第三十一回の御誕辰の嘉日を、在留民全部が心してめでたく終らせるよう主催側は望んでゐる。

今日のよき日は 天長節—奉祝會

ドリームランドで

第四回

悟りの會

來る三十日に

第四回「悟りの會」は來る三十日（木曜）午後八時からウエスタン街一五二〇で開催する。講演は「佛教と典について」一般の來會を希望する。

ムーデー夫人 映畫に出でず

聖林方面で映畫いりを傳へられたムーデー夫人、さきのヘレンウイルス嬢、昨日歸桑、「活動タル寄附試合をやるため金曜日（一日）午後來桑のはず、同試合女優になんかなりません、素人ばかりでこまるもやつてゆけるジョンスデーグルが組んでもいるとの事。今年はウインブルトンにも行きません」といふ。

報知社の雄圖を 奈良氏が講演

リフォームド教會で

風

山本有三

(六十八)

しかしこって姉に怨みをいふせう」と氣輕に飛出して行くさうわけにはいかないし、さうかといつて不意に歸つてしまふといつて不意に歸つてしまふといふことも出べなかつた。そんなことをすればすぐ氣取られて、自分も姉も困るばかりでなく、一家の恥さらしになると思つたさう思ふと姫子ははしたない眞似も出來ず、ぢつとうつむいたまゝでゐた。

「今の人ね、あなたと同姓よ、相樂さんての」

「さうね、何と名前つてあるものね」

「さても働くのよ、女中の二人前くらい働くね、派出婦つてなかーいゝものね」

「さうお」

兎子は知つてゐてわざとこんなことをいふのか、それとも本當に知らないのか、姫子には分からなかつた。けれども、はじめ知らん振りをしてしまつた以上、どこまでもそれを押し通すより外はなかつた。

素子は撮影機を持つてはいつてゐた。

「あのこれでございませうか」

「あ、さう。こつちへ頂戴。」

それから清まないけれど、ちよつと手傳つてこのいすとテーブルをシエランダへ持ち出してもらひたいのね」

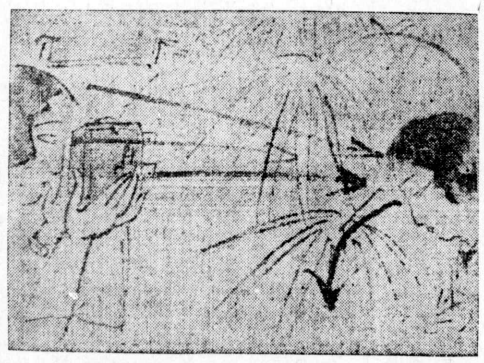
「はい」

「テーブルばこつちでこざいますわ」

「はい」

「それからーさうね、いすはそこにしてT戴、いゝね、もつとそつちよーそつちつたら、もつと左ちやないの」

姉が用をいひつけられてゐるのを見ると、姫子の小さい心臓はしめ木にかけられてゐるやうにつらかつた。自分が家に居さへすれば却つてものをいひつけられる身分なのに、何を好んで年下の女になんか使はれてゐるのだらう、姉が使はれてゐるのを、知らん振りをしながら黙つて腰をかけてゐる自分を思ふと、彼女はたまらなかつた。これが家で



てゐた。

射する光線をさへぎるために、それを高く差し上げながら持つてゐた。

「この邊でございますか」

「ね、場所はそこでいゝけれど、そのくらゐーそれから姫子さんは、もつとお顔をあげてT戴でないと、黙く寫つてよ」

しかし姫子は、シエードを捧げてゐる姉の眼さきから合さうなので、思ひ切つて顔を上げられなかつた。

「はい、これでいかがでしたの」

「はい、ありがとう、ちつとも動かなかつたわ、ぢゃ、もう一度、今度は素子さんの番よ、さあ、あなたこつちへ」

兎子は手早く生フイルムを入れて、機械を構へた。

「私はあるくのいやだわ。ぢや折角だから、そこにかけてゐるさうころを少しうしてT戴」

姫子は觀念して設けの席についた。

「ちようど」兎子は素子をかへ

「少し大きな板」

「はい」

「はい」

「はい

南加版

小さい廣告　大きな信用

これは誰の罪か？ 保險金がとれぬ事件

死んだ後になつてツラブル

廣島縣人向井氏一家と會社側

死んだらされる筈の保險金がとれない事件は方々にある。證入る時は同居代理人の勸誘で、スラーン加入契約を結ぶ約書に署名する時、小さな英語で書いた文句などは一々調べる者は殆どない。代理人の言葉を信用して加入したものの、當人が死亡したあとになつてイザコザ文句が出て保險金を拂はれない場合、この會社にも當局の顧問辯護士が居るし、同胞の多くは泣き寢入りになる。保險に這入る當人も注意しなくてはならない事だが、勸誘する代理人も今少し親切にやるべきではないか！

今度起つた事件はペーカスフィールド在住廣島縣人向井鏡子さんが、二〇のときで昨年二月ころ、長女ツミさん（二〇）は某同胞代理人、特に名を秘すを過じて某生命保險に加入した。會社の指定醫師の診斷をうけ萬事OKの上である。第一回掛金を送り加入後二日たつて不幸ツミさんは、かりそめの風邪がもとで同胞の手篤い看護の甲斐もなく昨秋月九日哀れ空しくなつた。

親子三人の掛金を戻して來た

向井氏では葬式のあと仕末を濟ませ會社側に保險金支拂方を申し込んだところ結核性の病氣のものは加入させぬ事になつてゐる。

といふ理由で支拂を拒絕し百十七弗九十六仙のチェッキを送つて來たうへに、母親ツヤ女に二百八十一弗十八仙、妹トシ子さんに五十七弗六十四仙と掛金だけをチェッキで戻して來た。

中村事務所を通じて交渉開始

向井氏は「美人コンテスト」誰か一番美人でせうか？ さ娘さんはもとより年ごろの娘持つ親御さまで寄るさわるさいやうな大變な人氣——來月二日夜、ボイルハイト羅府市政大演說會、二十九日夜正八時から富尾ビル四階YMOAホールで左の諸氏が第二世に呼びかける。日本人の勢ひを見せるために、櫻省だけでなく第一世同胞も誘つて來聽ありたしと。

▲南加大學生會
▲羅府加州大學女生會
▲YMCA貯蓄組合

草柳八重子嬢（百萬長者草柳竹太郎氏令嬢）
湯場スリー嬢（ベニスの湯場三郎氏令嬢）
羅府加州大學生會
▲ブルーライアングル
村田幸子嬢（村田五郎氏令嬢）

日系市民に呼びかける 水曜夜の政談演說

帝原名產 初瓜献上

岩田健一氏が

帝國平原プローレーの岩田健一氏は高松宮樣にカンタロープを献上した。昨日カナダのオッタワ公使館宛に急送したから定めし兩殿下は御賞味あらせられる事だらう

▲西本願寺女青年會
佐野さし子嬢（佐野勉治氏令嬢）
▲西本願寺男學生推薦
渡邊久子嬢（渡邊松三氏令嬢）

日會と學園の天長節拜賀式

ランポーク日本人會及び學園は來る二十六日午前十時ホールにおいて天長節拜賀式を擧行する由にて一般在留同胞諸氏の來會を希望すと。プログラムは

開會の辭　井上日會長
御眞影開扉　司會者
最敬禮
勅語奉讀
君が代二唱　會衆一同
閉扉　高橋田代兩氏
奉祝の辭　田代高橋兩氏
天長節の歌　會衆一同
奉祝の辭　堀田副會長
米國國歌　會衆一同
奉祝の辭　高橋組合長
閉會の辭　司會者

ボイルハイト在住羅島縣人石川平八氏は、先日の龍田丸で歸國する筈のところ、出帆前日になつて妻女歌子さんが（三三）に次女たか子（一〇）も一緒に逃げられ尋ね人廣告を出したり知友にたのんで妻女に和解を申し込んだがさうにもならず、春雨に濡ながら二人の子供を兩脇に淋しく淺間丸に乘組、いつまでも雨にけぶる陣の方を見つめてゐた。

雨は情なや男泣き まゝならぬは女心

淺間丸出帆の家庭悲劇

森下スミレ嬢講演會

サンタマリア合同教會共同會は桑港美以教會ヤングピープル、リーダーにして加州大學を卒業せる森下スミレ嬢を迎へ二十一二の兩日特別集會をひらき二十一日夜はベロス學園にて二十二日夜はサンタマリア合同教會にてひらく兩夜とも出席者すこぶる多く二十二日の如きは三十五名のヤングピープルの出席あり、しかも異數である森下嬢は「人生路を激闘したのである。川路はたり悉くを說かれ聽衆に深き感あさやかに眼の底にのこつてゐる。

果して、その結果は、德川幕府が始まつて以來あつらしい公明を正大なる裁判として、世評に上つた。淡路守もその功勞によれて、老中に取り立てられたが、それまで布衣以下であつた川路彌吉は、寺社奉行附取り調べ役から、一躍して御勘定吟味役に抜擢せられた。それは川路にとつては、望外の出世であつた。

「それがし一身にさりて、大輔殿の段々の御引き立て、海山の高恩にも比べられませぬが、それは私事今日國家やうやく事ならんとする時節柄、大輔殿をうしなうたる損失は、何ごとかり知られぬ次第でござる。」

川路は、奥方さ、安宅の前で泣きに泣いた。

「ーーうむ。して、その帶害

淡路守は、萬一の場合死を覺を起した。

脇坂中務大輔が、大御所御入御の夜、下城の途中かゞの中で暴死した。これは、たしかに當夜殿中に於いて、あやしい藥をもつた者は誰だらうと考るまでもなく、平常から淡路守を怨む者は、つゞに衆人のみて、一致してゐるところである。大御所近侍の連中か、それまで布衣以下であつた川路彌吉は、寺社奉行附取り調べ役さもなければ大奥の女中の仕業である。これ等は、もつから一味徒黨のやからだ。

◆

脇坂中務大輔が、大御所御入御の夜、下城の途中かゞの中で暴死した。これは、たしかに當夜殿中に於いて、あやしい藥をもつた者は誰だらうと考るまでもなく、平常から淡路守を怨む者は、つゞに衆人のみて、一致してゐるところである。大御所近侍の連中か、それまで布衣以下であつた川路彌吉は、寺社奉行附取り調べ役さもなければ大奥の女中の仕業である。これ等は、もつから一味徒黨のやからだ。

◆

天保政談

近松秋江作　鈴木朱雀畫

〔五十三〕

川路左衛門尉は、少しのことは、淡路の臨終の間に合なかつたので、その急死を、いたく惜み、むなしき遺骸の傍らで、慟哭のすゝ、「何分にもこのたび仙石家の疑獄は、老中（松平周防守）はじめ、あまたの幕府の重役にも關係のあることにてあれば、餘程の確證はござらぬな。——はて決心をもつて、事に當らねばそれは殘念千萬。いづれ、老中閣に、はじめ、お目つけへも内申してはなるまいやう取り計らひますてござらう。」

川路は、その日は、それで引き取つたが、脇坂家としては、表向きにまだ發表はしないが、川路の口から、水野越前はじめ老中同列、それから大監察鳥井耀三郎等の耳に入れた。城中の表向は、そのために、大きな感動の大光。そこ許に進呈いたす。天下忠爆等の耳に入れた。

「これは、それがし最愛の筆先を取つて、川路の表向きにまだ發表はしないが、

七首をさり上げ、

「これは、それがし最愛の筆先を取つて、川路の表向きにまだ發表はしないが、

川路は、その日は、それで引き取つたが、脇坂家としては、

川路は、その日は、それで引き取つたが、脇坂家としては、

川路は、その日は、それで引き取つたが、脇坂家としては

フレスノ【廿七日】

葡萄園果樹園はいよ水引に忙はし
夏期灌漑水は大缺乏か

昨日の大雨はさころによつてはかはきにかはきたる野菜園、果樹園、葡萄園に幾分のうるほひを へ葡園にも大した害はなく快霽は葡耕作者に慾眉をひらかしめた。一本年は近來稀な旱魃なるべきを見こし葡萄園、果樹園はポンプの設備を一層完全にして夏期の準備をするもの多く太兩氏を措南こして一場丑蒙、河合伊三郎氏の両氏は遠からず杜絶すべき豫想にあるをもつて葡萄園主は灌漑に全力をつくして多忙を極めてゐること

佛教學生會

▲ダンス 來る五月七日(木)夜同學生會ではホスピタリテーシヨンにてダンスを催すこと

擊劍練習會

布市武德會にては目下もこ廣島國はポンプの設備を一層完全にして擊劍練習を開始したが毎晩多數青年の來會あること。なほ目下デッキ水の配給をうけてはるるが遠からず杜絶すべき豫想にあるをもつて葡萄園主は灌漑に全力をつくして多忙を極めてゐること

セルマ

▲長節遙拜式 去る十八日夜來る五月七日(木)夜學園に於いて學務委員會開催出席者は 梅田、寺本、大久保、黑川、山下、町田、森重 の諸氏で天長節遙拜式を來る廿九日(水)夜七時半より同學園にて擧行することを決議し式順を司會者 山下一郎 ▲御眞影開扉 上村重太郎、森島字一郎 ▲君が代 會衆一同 ▲勅語捧讀 金澤學園長 ▲御眞影閉扉 上村、森島 ▲祝辭 市内日下生炭太衛氏子息……小生徒代表未定 ▲ピサロ倶樂部 洛田まさき セルマ地方青年會森重豊一昭和婦人會未定 地在留民島井只君 ▲閉會の辭 司會者 山下一郎

沖野岩三郎氏

▲講演會 故岡文壇にその名をはせてゐる沖野岩三郎氏は明治學院教授鷲山第三郎氏同伴にて來る五月二日頃來布するこの通知あり和歌山縣人會合同主催のもこにおこなはるゝよし

布佛婦人會

▲「無憂華」決算報告 既報の通り一昨夜及び昨夜催されたる同映畫は兩晩とも滿員の大盛況であつたがその收支は總收入 六百五十五弗七五仙 支出 三百五十一弗九十仙 差引殘金 三百三弗八十五仙であつた。

なほ當日は各商店より寄贈品あり主催者は大いに感謝してゐること

川内村人會

▲野遊會 既報のごとく昨日サンガー、ビーチに野遊會を催し百二十名の會衆は澤山な餘興にまた賞品にうち興じ盛大であつたが同地に雨はふらず六時頃散會した

なほ當日は各商店より寄贈品あり主催者は大いに感謝してゐること

沖野岩三郎氏

▲講演會 故岡文壇にその名をはせてゐる沖野岩三郎氏は明治學院教授鷲山第三郎氏同伴にて來る五月二日頃來布するこの通知あり和歌山縣人會合同主催のもこにおこなはるゝよし

布佛婦人會

▲「無憂華」決算報告 既報の通り一昨夜及び昨夜催されたる同映畫は兩晩とも滿員の大盛況であつたがその收支は總收入 六百五十五弗七五仙 支出 三百五十一弗九十仙 差引殘金 三百三弗八十五仙であつた。

なほ當日は各商店より寄贈品あり主催者は大いに感謝してゐること

川内村人會

▲野遊會 既報のごとく昨日サンガー、ビーチに野遊會を催し百二十名の會衆は澤山な餘興にまた賞品にうち興じ盛大であつたが同地に雨はふらず六時頃散會した

なほ當日は各商店より寄贈品あり主催者は大いに感謝してゐること

擊劍練習會

布市武德會にては目下もこ廣島國はポンプの設備を一層完全にして擊劍練習を開始したが毎晩多數青年の來會あること。なほ目下デッキ水の配給をうけてはるるが遠からず杜絶すべき豫想にあるをもつて葡萄園主は灌漑に全力をつくして多忙を極めてゐること

セルマ

▲長節遙拜式 去る十八日夜來る五月七日(木)夜學園に於いて學務委員會開催出席者は 梅田、寺本、大久保、黑川、山下、町田、森重 の諸氏で天長節遙拜式を來る廿九日(水)夜七時半より同學園にて擧行することを決議し式順を司會者 山下一郎 ▲御眞影開扉 上村重太郎、森島字一郎 ▲君が代 會衆一同 ▲勅語捧讀 金澤學園長 ▲御眞影閉扉 上村、森島 ▲祝辭 市内日下生炭太衛氏子息……小生徒代表未定 ▲ピサロ倶樂部 洛田まさき セルマ地方青年會森重豊一昭和婦人會未定 地在留民島井只君 ▲閉會の辭 司會者 山下一郎

退院

▲退院 サンガー山本氏息女、孫子敎師は本學期中留任することを承諾したこと

電話架設

▲電話架設 サンガー附近の佐野グロサリー及びガスリンステーションにて今回電話を架設したが番號は フレスノ 一一〇ファール一一

留任承諾

▲留任承諾 組合敎會及び同學園父兄會代表者の勸告をいれ安孫子敎師は本學期中留任することを承諾したこと

寄附

●寄附 カーマン柿本光太郎氏は合弟の七年忌記念として救世軍へ十弗

退院

●退院 エテラム前田テル子及びハツヱ嬢……小此木、キングスバーグ中原夫人――橋場

寄附

●寄附 サリナス横山實氏は佛遙拜式を擧行すること。なつた

退院

●退院 エテラム前田テル子及び敎會へ五弗

バイセリア

眞相

合同委員の努力

泡に歸す水

バイセリア ツラレ郡青年會バイセリア運動クラブ合同問題の眞相 合同委員の努力 泡に歸す水

この合同問題のために敎會を催すこと七八回遂に有志諸氏の誠心誠意の努力もむくひられず第一回合同不調後も從前通りツラレ郡青年會は敎會奉仕又は精神修養の方面に活動しバイセリア運動クラブは運動中心であつたが同クラブの融和は相變らずかげで青年の融和を妨害するかげ又日々疎隔して行く傾向はあつたが敵愾心等を持つことはなく愈々今日二十九日が聖上陛下の天長の佳節に相當するので、本紙に屢々報道した如く灣東各地の團體は一齊にこの佳節奉祝の念にみちて、恭しく遙拜したこと

天長節奉祝

灣東の各團體は

天長節を奉祝

けう一齊に遙拜式を擧行

サリナス日本人會に於いては天長節奉祝會を野遊會こかね擧行すること。なつた今上陛下の聖壽萬歲皇運無窮を祝した二日土曜午後八時より日本人會會場にて催されるサリナス學園主催の敎育映畫「母の心」を映寫するはずであつたが本年は來る二十九日午後一時半より日本人會ホールにおいて遙拜式を擧行すること。なつた

天長節奉祝

サリナス日本人會に於いては天長節奉祝會を野遊會こかね擧行すること。なつた今上陛下の聖壽萬歲皇運無窮を祝した二日土曜午後八時より日本人會會場にて催されるサリナス學園主催の敎育映畫「母の心」を映寫するはずであつたが本年は來る二十九日午後一時半より日本人會ホールにおいて遙拜式を擧行すること。なつた

オークランド

灣東の各團體は

天長節を奉祝

けう一齊に遙拜式を擧行

オークランド支社(電話 下府 マデソン街六〇三 ハラデー三四一七)

サリナス學園主催の名は來る五月廿一日土曜午後八時より日本人會ホールにおいて樋口名校長持參の敎育映畫「母の心」を映寫するはずであつたが本年は來る二十九日午後一時半より日本人會ホールにおいて遙拜式を擧行すること。なつた

名畫母の心

サリナス學園主催の名は來る五月廿一日土曜午後八時より日本人會ホールにおいて樋口名校長持參の敎育映畫「母の心」を映寫するはずであつたが本年は來る二十九日午後一時半より日本人會ホールにおいて遙拜式を擧行すること。なつた

灣東學園の

奉祝式順序

本年二十九日(水)午後七時より灣東學園に於いては天長節奉祝遙拜式を擧行、一般同胞諸氏の參列を希望してゐるが、當夜のプログラムは左の如し

司會者 磯田元次郎

開會の辭 司會者

御眞影開扉 廣野重次郎

今始奏樂

一同起立

最敬禮

君が代二唱

勅語捧讀 廣野重次郎

御眞影閉扉

今始奏樂

一同

天長節奉祝歌

會衆一同

祝辭 生徒總代 丹治光雄

學園長

干府日米協會 遠藤一郎

學園長

三宅幾多

學園代表

矢幡富藏

干日會代表

司會者

閉會の辭

第二式 餘興

閉會者 赤星信太

一、軍艦マーチ 男生徒一同

一、金剛石 女生徒一同

三、ダンス 松村ヨシ子嬢

邦人神學生

例會と送別

パークレー日本人會では同夜「既報のごとくのプログラムで遙拜式及び餘興

▲アラメダ日本人會でも當夜「既報の如く遙拜式と餘興

▲ウントエデン日本人會でも當夜白人ホールで大々的に奉祝式及び餘興大會を催す

パークレーに於ける日本人神學園の生徒倶樂部は卒業祝賀及び送別をかねた去る廿四日夜、干府獨立敎會にて例會をひらいたが、小田牧師の司會にて石野牧師の祈禱あり、河野牧師の祝賀、塗別の辭につぎ卒業生側より仲ローズ嬢、中上、大、小辻、中山、及び日本生まれ米人タッピング氏等の挨拶、感話ならびに一時故國を訪問する幅田嬢の挨拶あつて盛會裡に閉會したが、右のうち小辻氏は神學博士の學位をさずけられる筈に小田牧師は神學士、中上、後藤兩氏はマスターの學位をうけるよしで又塚本氏は聖公會の副牧師格の執事試驗をうけた。因みにバシフイック スクールの卒業式は來る七日、デビニテースクールの卒業式は五日に各擧行されるはずであること

王佛婦人會

水曜夜家庭集會 干府佛敎婦人會では來る二十九日(水)午後八時より第六街百七十北島貞氏宅にて例會をかねて庭法話會を催し、席上驚問致す諸氏はふるつて出席をこふこと

王府日會主催

兒童健康診斷

干府日本人會の主催で五月中旬頃同胞兒童の健康診察を行ふはずで、各ドクター及び產婆諸氏が奉仕的に盡力さること。例年のごとくであるが、何れ日及び詳細決定次第報道するであらうこと

灣東商會

灣東商會では來る三十日午後八時より役員會を催し、種々重要事項、特に日曜學校の件について協議するはずであるから役員諸氏は八時までに是非出席ありたしこと

佛會

佛會では來る二十九日(水)午後八時より第六街百七十北島貞氏宅にて例會をかねて庭法話會を催し、席上驚問致す諸氏はふるつて出席をこふこと

例會

●例會 加州相互保險理事會議 加州相互保險組合では去る二十六日副社長ドクトル、ヒル氏、灣東を機として代表人會議を開催したが、今後大いに活動することを申しあはせて散會した

理事會

●理事會 加州相互保險理事會議 加州相互保險組合では去る二十六日副社長ドクトル、ヒル氏、灣東を機として代表人會議を開催したが、今後大いに活動することを申しあはせて散會した

野村氏

●野村氏轉居 野村氏は今回干府五アビニューの八百三十一へ轉居した

王佛婦人會

水曜夜家庭集會 干府佛敎婦人會では來る二十九日(水)午後八時より第六街百七十北島貞氏宅にて例會をかねて庭法話會を催し、席上驚問致す諸氏はふるつて出席をこふこと

王府日會主催

兒童健康診斷

干府日本人會の主催で五月中旬頃同胞兒童の健康診察を行ふはずで、各ドクター及び產婆諸氏が奉仕的に盡力さること。例年のごとくであるが、何れ日及び詳細決定次第報道するであらうこと

灣東商會

灣東商會では來る三十日午後八時より役員會を催し、種々重要事項、特に日曜學校の件について協議するはずであるから役員諸氏は八時までに是非出席ありたしこと

佛會

佛會では來る二十九日(水)午後八時より第六街百七十北島貞氏宅にて例會をかねて庭法話會を催し、席上驚問致す諸氏はふるつて出席をこふこと

野村氏

●野村氏轉居 野村氏は今回干府五アビニューの八百三十一へ轉居した

野村氏

●野村氏轉居 野村氏は今回干府五アビニューの八百三十一へ轉居した

例會

●例會 加州相互保險理事會議 加州相互保險組合では去る二十六日副社長ドクトル、ヒル氏、灣東を機として代表人會議を開催したが、今後大いに活動することを申しあはせて散會した

理事會

●理事會 加州相互保險理事會議 加州相互保險組合では去る二十六日副社長ドクトル、ヒル氏、灣東を機として代表人會議を開催したが、今後大いに活動することを申しあはせて散會した

佛會

佛會では來る二十九日(水)午後八時より第六街百七十北島貞氏宅にて例會をかねて庭法話會を催し、席上驚問致す諸氏はふるつて出席をこふこと

灣東商會

灣東商會では來る三十日午後八時より役員會を催し、種々重要事項、特に日曜學校の件について協議するはずであるから役員諸氏は八時までに是非出席ありたしこと

サクラメント　支社メーン電話三〇六六【二月八日】

高松宮殿下へトラウトを献上

櫻府同胞釣魚倶楽部決議　来る五月三日競技會開催

来る五月一日からトラウト釣りのシーズンが始まる、山釣連は今から手具脚引いて待つて居るが、櫻府同胞同好の組織するシエラ、フイッシング倶楽部では来る五月三日に フエザー河上流で競技會を催すことになつたが其献上トラウトは競技日の五月三日から向かふ二十四日までに用意することに相談一決したと

一米國佛教建設の途に立つて
二、佛教でアメリカニズムの一つを撰擇すべきが地方各青年會に嚮ふ士の出場を促せる案内狀を發送したと、演題は五月九日迄に代表者會で決定する由

●美以教會　来る二十九日七時より河下ホールで河下日本人會主催のもとに盛大に擧げられる由にて着々とその準備を進めて居るが遙拜式は舞臺の中央に御尊影を奉置して見事に裝飾

二十九日の天長節遙拜式は午後七時より河下ホール　河下日本人會主催のもとに盛大に擧げられる由にて着々とその準備を進めて居るが遙拜式は舞臺の中央に御尊影を奉置して見事に裝飾

天長節　遙拜式

午後七時より　河下ホールで

ウォルナッグローブ

●浸禮教會　市内浸禮教會は午後八時より市内第四街の大山化粧品店にて美以教會集會を催し同教會の新禮會も同所で行ふべしと

●美以教會　来る二十九日の水曜午後八時より市内第四街の大山化粧品店にて美以教會集會を催し同教會の新禮會も同所で行ふべしと

●寄附　津田商店長森田花見氏嚴父柳甲にて死去の訃報に接し追悼紀念として五弗宛を日本キリスト教會に同日理學校に、早速瀬獨太郎氏夫人出産紀念として五弗を同婦人會に、市内山崎富吉氏亡妻キヌ女三ヶ年追悼紀念として五弗を同教會に寄附

少年三名　釣魚法違反

年嵩の少年は　廿弗の罰金課さる

去る二十五日の日曜市内同胞少年三名がブロードリック附近のサクラメント河でポーチを釣りヨーロー郡の官憲に捕はれ一人五弗を同婦人會に、市内山崎富吉氏亡妻キヌ女三ヶ年追悼紀念として五弗を同教會に寄附

●トラウト　苗取費　當地リバサは定例まで出席を盛むで、なほ繼ての費用は寄附を集めずに日本人會より奮發して支辨する

四萬弗の損害賠償提起

●井木ドクター出発　昨二十七日より卅日まで桑港に加州醫師會に出席の為出発し卅日朝歸櫻する由

●沙翁劇講演　明治學院英文科教授繁山第三郎氏は昨二十七日朝當市美以教會牧師館でシエスピヤ文學に關し講演したが聽講者は教役關係者ばかりであつたが頗る有益な講演で沙翁の悲劇は勧善懲惡の安價のものでなく善人ビ死る例が多いが悲劇其ものが人生を教ふるものだと結論した

●動物寫眞　来る二十九、三十日の兩夜エルグローブ日本語學校ホールにて玉井氏の一己の活動寫眞を學園維持會主催のもとに上映する筈である

●火災見舞　當地松崎氏キャンプ全燒せしにつきエルグローブ維持會より金五弗を見舞金として送つた、なほ同地青年會も同じく見舞ひとして送る

天長節　遙拜式

午後七時より　河下ホールで

メリスビル通信

佛教會落成　入佛式盛會

メリスビルの佛教會では去る二十五日本堂落成式を行ひ二十六日入佛式を行つた が増山總長をはじめサクラメントから清水、龍島兩開教使が出張し多數參會者あつて盛會であつた

●三浦關遙氏講演　文學者にして社會教育者たる三浦關遙氏は来る五月十六日當地に講演會を開かれるやう依頼ありたるが同氏は著書も頗る多く米人間に英語講演もする筈である

●アスパラ狀況　本年のアスパラガスは不景氣の影響で作付面積は多くきめ細語會社に耕作者を協力して結果クラブの六十一パーセントを鑑語會社にて受け取り製罐

天長節遙拜式

バカビル便り　（廿六日）

来る廿九日午後七時半より佛教會本堂に於いて天長節遙拜式を行の筈なれば一般在留同胞の御參列を希望す、因みに當日のプログラムは左の如し

司會者　竹田敬一郎
一　御尊影開扉　司會者
一　御眞影開扉　中村八重楠
一　最敬禮
一　勅語奉讀　澤本治兵衛
一　君が代二唱　浦本義雄
一　最敬禮　會衆一同
一　御眞影閉扉　浦本、中村
一　最敬禮　會衆一同
一　奉祝の辭　林壽一
一　青年會代表　林壽一
一　學園代表　佐々木養之助
一　美以教會代表　佛敎會代表　得能義弘
一　日本人會代表　增田勇吉
一　閉會の辭　司會者

●雨降る降雹　去る二十二日夕方より降雨あり翌二十三日午前十時頃より近頃珍しき雷雨襲ひ降雹さへあり一時農園ポース郡

●當地の特産物　草苺は今一番の出盛りで本年は霜と雨害を受けざりし故約百箱以上の出荷合を達せんとする二年物はいづれも近年稀に見る好成績である、それに市價も例年に比して比較的好調を保ちつつ一弗五十仙より二弗で羽が出て飛ぶ如く賣れるさうである、此のことは不景氣知らずだ、この分で行けば本年末まで、又は例年の如く多分の香花御手向に預り御同情千萬奉戴謝候一々參堂御禮可申述答年略儀以紙上右御厚礼申上候　敬白

共勵會主催　演藝會

五月一日敎會内で

須市日本人キリスト教會内共勵會主催の演藝會は来る五月一日會場で開催する。同夜は共勵會所屬の青年全部參加英語及び日本語にて演ずることになつて居る。大人五十仙、子供十仙で收入の全部は共勵會の事業費金に使用するのであるとの

●開業　須市東メイン街一〇四番ルーミングを新たに購入した上久氏は意ゑルームの設備完成したれば去る二十四日より營業開始したがホテルの名稱はハリウードホテルと改めたりと

●結婚　須市南センター街守田球場の新婚は二十七日午後二時より須市教會に於いて擧まる、守田氏司式し寺川開教使の讃經及び說教ありて會員の總香あり尾崎はオークパークの火葬場に移し最後の告別式を行ひ茶毘に附したりと會葬者百餘名盛儀であつたと

ピクニック

寄附つぐ

ローダイ便り

▲シバ演八打　櫻府商會▲運動靴十足　太平洋貿易▲鋪語二打　石元商店▲草履廿六足　美顔水二打半　北米貿易▲味噌本商會▲藤本商會▲ストーケー　富眞勞十弗　須市福井寫眞館▲スーツケース一個　長谷川靴店▲スーツケース一個及び繪本二打　森商▲バルン百、鞄三足　神原靴店▲骨品八包　宮田商店▲骨品十九包　大谷畳機▲金二弗五十仙宛　本田藤三郎、山本定一、大上富一、小山金一、市場村一、津崎清吉、野男助一、中村仙助、香川鶴次郎、追手康一▲金二弗宛　山本鶴一、大上保、仁島次郎、島田三平、野中正生、田邊可波博二郎、山中雪吉　岡貞男　友田謙一、武田興一　（以下次號）

男女リン病

寄附つぐ

▲シバ演八打　櫻府商會▲運動靴十足　太平洋貿易▲鋪語二打　石元商店▲草履廿六足　美顔水二打半　北米貿易▲味噌本商會▲藤本商會▲ストーケー　富眞勞十弗　須市福井寫眞館▲スーツケース一個　長谷川靴店▲スーツケース一個及び繪本二打　森商▲バルン百、鞄三足　神原靴店▲骨品八包　宮田商店▲骨品十九包　大谷畳機▲金二弗五十仙宛　本田藤三郎、山本定一、大上富一、小山金一、市場村一、津崎清吉、野男助一、中村仙助、香川鶴次郎、追手康一▲金二弗宛　山本鶴一、大上保、仁島次郎、島田三平、野中正生、田邊可波博二郎、山中雪吉　岡貞男　友田謙一、武田興一　（以下次號）

ワッツンビル　不景氣知らずの苺業者

苺成金續出の有様

東港　安樂ホテル　AKI HOTEL　1651 Post St. S. F.　Tel. Fillmore 2870　日本行の乗船斡旋

グロアース農産會社　P.O. Box 168 Sacramento, Cal.　右取次販賣仕候　Tel. Main 1006　多少にて不拘御注文に應じます

萩原巳之吉　3171 Riverside Blvd. Sacramento, Cal.　Tel. Main 7669-R　右取次販賣所　櫻府

特撰のトメト苗　キャナリー用、マーケット及びシッピング用　右三十萬本販賣仕候　萩原巳之吉

特撰のトメト苗　須市　丹治佐久喜　電話 25-R2　Rt. 4, Box 189, Stockton

▲サクラメント▲　トメト苗賣る　須市　丹治佐久喜　電話 25-R2　Rt. 4, Box 189, Stockton

櫻府支社　櫻府第四街一四一　電話メーン〇三六六

小林商院　櫻府第四街一四一三半　電話四八三

大下商院　櫻府第六街二〇〇六番　電話キャピタル四五八六

猿渡商院　櫻府オー街四二九　電話メーン一二八一

大山寫眞館　櫻府第四街一二一七A　電話四三七七

黒河寫眞館　櫻府エム街三〇一　電話メーン一二一五

崎山商店　櫻府第四街住友銀行二階　電話メーン三九八

力石歯科醫院　電話キャピタル一三五八

櫻府エム街三〇〇　電話キャピタル二〇六六

デルモント魚店

佐藤歯科醫　櫻府第四街一二一七　住宅電話キャピタル三三〇J

ライオン藥店　櫻府第四街一三〇五　電話メーン一五六六

時計師府川　專門修繕　電話メーン四二六九W

サクラ藥店　櫻府第四街一三一六　電話三七八一　通辯丁寧　赤星善吉

朝日時計店　第四街一二一九　電話二八七三W

濱井回春堂藥店　櫻府第四街エム街角　電話メーン一七二

山陽家具店　櫻府エル街五二二　電話メーン二二三四

新イーグル藥店　櫻府第四街一四〇一　電話メーン六三七七

丸二切花店　第四街三三三　電話四三七W　住宅電話キャピタル五二四W

櫻府第四街一三一　電話メーン一三一三

日本ドラグ　櫻府エル街三〇一　電話メーン一三一三

竹本藥店　第三街一二一三　電話五二一四七

船橋商店　櫻府第四街一二〇九番　電話メーン二二五七二三

家具商會　OK　櫻府エル街四二四二六　電話メーン四六七〇

武田保險　櫻府エム街四三一　電話メーン五〇三〇

フォード自動車會社　電話 M 七六〇

日米須市支廠　須市南ハンター街九二三　電話スタクトン九一二

▲スタクトン▲

いなか商店　櫻府最古の金物店　第四街一二三一

森本歯科醫院　須市南エルドラド街二四一　電話七三六

鬼塚歯科醫院　櫻市エルドラド街四四　電話四七三住宅八五九三W

須市醫師會　（ABC順）
秋本研介　須市南エルドラド街四四　電話九三六六
林哲　須市南エルドラド街四四　電話五一六三
石川榮助　東メイン街一〇五　電話八九二〇　住八九二二
塚原正美　四アシントン街二八　電話四七二〇　住、醫學博士
内田賢助　須市南エルドラド街二八　電話三九三九

須市南エルドラド街二四一　板前鮮福◇料理精選◇出前迅速　支那料理　電話七三六

賓東樓　電二一五五　Ind Pl　Wash St

タイヤ大安賣　PACIFIC COAST　グッドイーヤー　パスファインダー　スーパーコード　保證附タイヤ

サイズ		一本値段	一對値段
30x3½		$4.39	$8.54
4.40-21	(29x4.40)	4.98	9.60
4.50-20	(29x4.50)	5.60	10.90
4.50-21	(30x4.50)	5.69	11.10
4.75-19	(28x4.75)	6.65	12.90
5.00-19	(29x5.00)	6.98	13.60

其他如何なるサイズも大勉强
中古タイヤ破格物澤山あります
Riehl's Service Station　LOOMIS, CALIFORNIA

JAPANESE AMERICAN PRINTING DEPARTMENT　650 ELLIS ST. San Francisco　FRanklin 3311　日米印刷　設備完全　迅速　廉價

種子卸小賣　特選レタス種子　ピーースピニチ　其他各野菜種子　日本人最大種子卸賣商店　グロア種子株式會社　OROWERS SEED CO.　201 Jackson St. San Jose, Calif.　Tel. Columbia 1082　平崎清

種子　特別精撰の　トメト苗　種類（キャナリー用、シッピング及テーブル用）　大村幸八　Rt. 1 Box 99 Sacramento, Cal.

會葬御禮　榮藏儀葬儀は御多忙の處遠路御會葬被成下候のみならず多分の香花御手向に預り御同情千萬奉戴謝候一々參堂御禮可申述答年略儀以紙上右御厚礼申上候　敬白　須市　松下見義　外一同　友人　同守田　同主婦　弟　同庄次郎　同イシ子　友竹金同　同幸太郎　人一繁　同藏　同　田　同　同　同

The Largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

A Newspaper For All People Interested in the Welfare of Japan and The Japanese People

NUMBER 11,315 — Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter — SAN FRANCISCO, CALIFORNIA, WEDNESDAY, APRIL 29, 1931 — Copyright 1931 By The Japanese American News — Per Month $ 1.00 Per Year $11.00

By A. M

HURRAH, for "Sam—'30" who wrote a nice article entitled "To Hell With Examinations—Let's Learn Something" in the College Forum, a Stanford University publication. According to Sam '30, "The spirit of examining is obviously a spirit of compulsion. Compulsion is always an antagonizing factor. The student forces himself to learn; he does not learn for the satisfaction of knowing. He is ever on the alert for the things which he anticipates being examined upon and not for things which are significant to him as being the essence of knowledge of the subject." Yes, and what made matters worse was the fact that the professor and we hardly ever agreed upon what to be examined upon.

SOMEDAY when the earth is old enough, we wonder if we will get to, or evolve to, or progress to, a point where students can really study those things which appeal to them and not have to be worried by the shadow of "This is important now. Yuh gotta learn it by heart 'cause the prof might ask it for the midterms or finals sure. Aw heck! Why's it so important anyway?"

'BUT," asks the professor, or teacher, or board of education, "how will we know how much you know so that we can determine what grades you should get, so that we can determine some standard for giving you a degree?" Oh, well, what's the use. We give up. What's in a name, they say, but we feel more like saying, "What's in a grade, or even a degree?" Even some Phi Beta Kappas we have seen are dumbells just like us, and some high degree holders aren't so perfect. In other words, there are Phi Beta Kappas AND Phi Beta Kappas and degree holders AND degree holders and their degrees and their keys are no "key" to their real worth or scholarliness sometimes.. So it seems to us.

SOME expert or other has figured out that 4.1 persons can live on $1111 per year in San Francisco, or not quite $300 per person. Does that include clothing, rent, light, fuel, furniture, and all the other one hundred and one things necessary in keeping body and sould together in a big city? If so, all we have to say is, "Just try and do it!"

SACTO MAN LEAVES FOR EAST TO MEET SOPRANO

[Special to Japanese American News]

SACRAMENTO, April 28.—Tsunelchiro Miyakwa, proprietor of the Agnes hospital here, left the city for New York Saturday to welcome home his wife and daughter, Miss Agnes Miyakawa, noted second generation soprano.

Miss Miyakawa is returning from Paris, where she has been studying voice for the past three years, and where she was given a warm ovation by the artistic Parisians when she made her formal bow as Chocho san in the opera, "Butterfly," recently.

SCOUTS TO PARTICIPATE IN JAMBOREE

Troop 12 to Exhibit at Exposition on May 21

Japanese Boy Scouts Troop 12 of this city are expected to make a good showing when the first annual Boy Scout Exposition-Jamboree is held at the Civic auditorium for three days beginning on Thursday evening, May 21.

Forty-five Japanese boys, with 5000 scouts in the 150 troops in San Franncisco, will have a booth showing merit badges of surveying for their demonstration. One hundred and fifty such booths, depicting the various phases of the merit badge program, as industry, sports, agriculture, camping, science, mechanics, aeronautics, and others, will be installed in the Exposition-Jamboree. Each booth is to be sponsored by local business, commercial, industrial, and civic firms.

The Japanese scouts chose surveying as their demonstration because nearly everyone in the troop has had some training at map-making at the troop's summer camp. A local branch of a New York surveying instrument, Keuffel and Esser company, at 34 2nd street, is reported to have given consent to loan any instrument that may be needed by the Japanese scouts.

Tickets to the Exposition-Jamboree may be obtained from any member of the troop. They are sold at 50 cents each. Special student tickets (obtainable by those who are under 18 years of age), are sold at 15 cents each.

2 NATIONS' CLASH SET

Fresno Taiiku Nine to Meet Wa-Sons on May 10

FRESNO, April 28.—The Fresno Taiiku kai invited a Chinese ball nine in Oakland, Wa Sons, claimed to be one of the toughest Chinese nines in California, to clash here on Sunday, May 10, it was reported today by the officials of the atletic club. The game is carded to start at 2 p m at the Japanese baseball grounds.

The Japanese squad will be well guarded by such stars as Zenimura, Yoshikawa and Nakamura, with the addition of Kanow and Murashima who are expected to be back home from the University of California for their summer vacation.

Japanese Doctors, Nurses to Help in Oak. Health Exams

[Special to Japanese American News]

OAKLAND, April 28.—Because of the services offered voluntarily by several well known Japanese physicians and nurses in the bay area, the health examination of the Japanese school children in Oakland, to be sponsored by the Oakland Japanese association, was made possible. The examinations, it is reported, will be held some time in the middle of next month.

JAPAN FORMS RADIO CORP.

International Broadcasting System Planned

By MILES W. VAUGHN
United Press Staff Correspondent

TOKIO, April 28 (U.P.)—The Japan Radio Broadcasting Associations, a private corporation under government control with exclusive right to make radio broadcasts in Japan,has concluded an agreement for exclusive interchange of international programs with the United States through the National Broadcasting Company.

The first of the international broadcasts from Japan was to be sent from station JOAK, Tokio, on Emperor Hirohito's 30th birthday, April 29, and was to be re-broadcast throughout the United Statee.

PROPOSAL ACCEPTED

The proposal for an agreement for exclusive co-operation was submitted the Japan Associations by the National Broadcasting Company last month and adopted after some slight changes. National Broadcasting programs will be relayed to Japan for rebroadcasting about May 20.

The Japan Broadcasting Associations, organized four years ago under government control, plans additional stations at Fukuoka and Kokura, in the southern island of Kyushu, within the next 18 months and at Aomori, in northern Honshu Island and Kyoto, in central Honshu, within a year.

OPERATES 3 STATIONS

The Associations now operate three large stations: JOAK, Tokio; JOBK, Osaka and JOCK, Nagoya. Smaller stations are in Sendai, Hiroshima, Kumamoto, Shizuoka, Nagano, Okayama, Sapporo and Kanazawa. The organization has the exclusive right to radio broadcasting in the Empire proper and charges a fee of one yen a month to all holders of receiving sets. There are about 700,000 subscribers and the number is increasing.

The organization is based on the general plan of the British Broadcasting Company. Kenzo Iwahara, former head of the Shibaura Iron Works, is president.

Advertising programs are not allowed and the income of the organization is soley from subscribers. The company is a non-profit making concern and its president and directors serve without pay. Income now amounts to about $350,000 a year which is used to pay off debts contracted when the company was started and to cover running expenses, artists, research workers, etc.

BOOM! BOOM! HEAR HIM?

Salvationist Keeps Promise to Old Employer

A few months ago, a member of the editorial staff of The Japanese American News received a pathetic letter of appeal from a 71 year old woman in Japan asking for the wherabouts of her brother from whom she had not heard for many years and begging he might be persuaded to return to Japan.

Touched by the appeal, the editorial writer inserted an article in the paper. A few days later he was pleasantly surprised to hear from the long lost brother himself in San Mateo who explained that he had wandered for many years a devout follower of the Salvation Army. He was now working in San Mateo but would immediately return to Japan.

The writer heard no more. Recently the following article appeared in a San Mateo paper.

"Citizens of Kobe, Japan, may wonder why the Kobe Salvation Army band is tooting and parading today but the tooting and parading, with a San Mateo Japanese boy leading the march, will be no puzzle to friends of a San Mateo world touring party who recall the promise made by Frank Takeda, houseboy.

"Nearly thirty years ago Frank came to San Mateo. He has served as a house boy at the Wisnom home and others well known in San Mateo. Also, Frank is a regular tooting, parading Salvationist. For years he wore the uniform and was known here as the Oriental Salvationist.

GREETS IN HIS BEST

"Frank left for his former home in Kobe but a week before the Wisnom party departed on a world tour March 27. Before he left, Frank made a solemn vow that when the San Mateo party arrived in his home town they would be greeted with a fanfare of the best in Japanese Salvation Army trumpets and the boom of the big bass drum.

"That was what they heard in Kobe today as citizens and tourists from the big liner stopped to stare and listen and question each other.

"It was Frank Takeda, Japanese house boy of San Mateo, greeting his San Mateo friends, as promised."

MME. IKI TO APPEAR IN FAMED OPERA TONIGHT

MADAME IKI

Who will sing in the role of Cio-Cio San in "Mme. Butterfly" at the Tivoli Opera House, wednesday evening, April 29.

Popular Local Diva Again Starred in 'Mme. Butterfly'

Wednesday night the Tivoli Opera House will be filled with not only Japanese but American friends and admirers of Mme. Hana Shimozumi Iki when she appears in the star role of the opera "Madam Butterfly" as Cio-Cio San.

Born, raised and trained in the Bay Region, Mme. Iki early gained recognition for her lovely voice quality. Six years ago she made her first appearance in grand opera in San Francisco winning much praise for her interpretation of Cio-Cio San.

On Wednesday evening she will be starred by Arturo Casiglia, general director, in the third annual season of the Pacific Opera Company. The object of this company, according to its backers and patrons, is to further the interests of the California resident artists in advancing their professional careers.

Mme. Iki will be supported by a cast including Luis de Ibarguen, noted Spanish tenor, in the role of Pinkerton; Marsden Argall, baritone, formerly of the San Francisco Opera Company, as Sharpless; and Edith Mackey as Suzuki.

Heartily Endorses Bicentennial of George Washington

The Japanese people in America will heartily endorse and take part in the Two Hundredth Anniversary of the birth of George Washington in 1932. This was the substance of the resolution adopted by the Japanese Association of America when it held its twenty-third delegates convention at San Francisco, on April 16 and 17.

In reply to an official invitation from the George Washington Bicentennial Commission, created by Congress, to take part in the nation-wide observance, the following resolution was passed by the Japanese association delegates and sent to the Commission headquarters in Washington, D.C.

RESOLVED, that the twenty-third annual Delegate Convention of the Japanese Association of America, meeting at San Francisco, California, April sixteenth and seventeenth, 1931, does hereby endorse the program of observance of the Two Hundredth Anniversary of the birth of George Washington, to take place in 1932; accept with appreciation the invitation of the George Washington Bicentennial Commission, and pledge this organization to extend earnest co-operation to the United States commission in all possible ways, so that future generations of American citizens may be inspired to live according to the example and precepts of Washington's exalted life and character, and thus perpetuate the American Republic.

Asama Maru Sails Thursday; Shinyo Arrives on Friday

The N.Y.K. liner Asama Maru is scheduled to sail from this port with a capacity cargo and a full list of passengers Thursday noon.

With Captain Shinomiya on the bridge, the motorship arrived from Los Angeles Tuesday with 185 passengers from the south. She will take on more cargo and a large list of passengers from San Francisco.

Included among the passengers booked to sail on the linner will be the first Cuban minister to Japan, Dr. Orestes Ferrara, with his consular corps, round out a list of over 500 passengers.

SHINYO ON WAY HERE

With a cargo of 1327 bales of raw Japanese silk and gold cargo valued at $450,000, the N.Y.K. liner Shinyo Maru is now on her way from the Orient to San Francisco and is due to arrive here on Friday, May 8. The gold shipment is one of the largest to come in from the Orient within the last few months, it was reported at the local offices of the line yesterday.

BLUE CIRCLE MEETING

The Blue Circle Club of the local Y.W.C.A. will hold a meeting this Thursday evening at 8 p m at the Japanese Y.W.C.A. Mrs. Christian will lead a discussion group.

ISLAND CITY PLANS PICNIC

Alameda ME Church to Hold Ouitng at Albany Beach

[Special to Japanese American News]

ALAMEDA, April 28.—The much anticipated annual out-of-door devotional services and outing of the Alameda Japanese M.E. church, south, will be held this Sunday. Members of the church will assemble in front of the building on Buena Vista avenue at 9 a m, whence the group will leave for the outing grounds at Albany beach en masse.

Kenzo Yoshida is acting as athletic chairman for the day, while Mr. Mizoguchi and Mr. Fujii have been appointed to take charge of the games. Many prizes will be awarded to those who participate in the games, it is reported.

Guadalupe Young People Hear Miss Sumile Morishita

[Special to Japanese American News]

GUADALUPE, April 28.—Approximately 40 young people from Santa Maria and Guadalupe attended the banquet given in honor of Miss Sumile Morishita recently. James Hatanaka, secretary of the Santa Maria Christian Endeavor society, presided as toastmaster.

Later a meeting was held at the Santa Maria Japanese Union church led by Miss Kiyo Utsunomiya. Miss Morishita, who is the Young People's religious work director at the M.E. church at San Francisco, spoke on "The Need of a Purpose in Life."

HIS MAJESTY

The Emperor of Japan celebrates his 30th birthday, April 29, and millions of his subjects, not only in Japan, but in every countr yand state in the world are observing the day with fitting ceremonies.

Berkeley Church Fetes Seminary Grads on Friday

[Special to Japanese American News]

BERKELEY, April 28.—Several Japanese students attending the Pacific School of Religion in this city, and who are graduating from the school this semester, were feted last Friday evening by the members of the United Christian church here. The commencement exercises of the institution are announced to be held on Thursday, May 7.

The graduates honored were: Mr. Kotsuji, candidate for D.D. degree; Masaichi Goto, candidate for M.A. degree; the Rev. N. Oda, Miss Rose Naka, Mr. Nakagami, Mr. O. Omura and Mr. Nakagawa, candidates for B.D. degree. Miss Topping, another graduate, was also present.

American Penwomen Gain New Sister Branch in Japan

A branch of the National League of American Penwomen is being organized in Tokyo, according to news received by the local branch whose members are taking great interest in the organization and co-operation of their sisters in the Far East. The Tokyo branch is starting with 12 members and is the first branch of the league to be formed outside of this country.

JAPANESE COMMUNITIES EVERYWHERE CELEBRATING TENCHOSETSU, WEDNESDAY

Japan-U.S. Hookup 5:15 Wed. Morning

Western dialers of KPO will have to set their alarm clocks for 5:15 o'clock Wednesday morn in order to tune in on the program in celebration of the birthday of the Emperor of Japan.

The first fifteen minutes of the program will bring the voice of Secretary of State Henry L. Stimson speaking from the Capitol at Washington. Then the broadcast will be switched to Japan for a speech by the Japanese Foreign Minister Baron Shidehara. A five minute musical program will follow.

MARY IKEDA IN RECITAL

Mills College Girl Presents Piano Program Sun.

[Special to Japanese American News]

MILLS COLLEGE, Oakland, Apr. 28.—Miss Mary Belle Ikeda, talented Japanese pianist attending college here, majoring in piano, will give her recital at the Mills college concert hall this Sunday afternoon, May 3, beginning at 3 o'clock, it was announced today.

Invitations, with programs printed on vermillion cards, have been sent out to faculty members and other personages in the East bay.

Miss Ikeda's recital program includes the following numbers from four masters: Fantasia in C minor, Bach; Pastorale and Capriccio, Scarlatti-Tausig; Romance, Op. 28, Vogel als Prophet, Op. 82, and Phataslestucke, Op. 12, Schumann; Prelude, Op. 28, No. 3, and others, Chopin.

Turlock Community to Stage Picnic On Sunday, May 3

[Special to Japanese American News]

TURLOCK, April 28.—The annual spring outing of the Japanese residents of Turlock and its vicinity will take place this Sunday, May 3, at the usual grounds, Mr. Crow's orchards, about two miles east of Hughson. The feature of the day's program is said to be the masquerade parade participated by various families of this locality.

DR. ROY AKAGI ARRIVES IN N.Y. LETTER STATES

ALAMEDA, April 28.—Dr. Roy Akagi, former secretary of the Japanese Student Christian association, in a letter to his parents here, stated that he has arrived in New York safely and that he is expecting to take up his new post at Columbia university as professor of Oriental civilizations shortly.

San Francisco Plans Gigantic Rites at Dreamland

Millions of Japanese subjects all over the world, including those in California, will celebrate the 30th anniversary of the present Emperor of Japan, on Wednesday, April 29.

The Japanese community of San Francisco will celebrate the occasion with a gala program already planned for by many committees at the Dreamland auditorium on Wednesday evening, starting at 7 p m, sharp.

Under the decoration committee chairman, Mr. R. Katayama of the Kyoiki Sha, the hall, both inside and outside will be decorated elaborately with fitting flowers, designs, and banners.

ENTRANCE DECORATIONS

At the entrance of the auditorium there will be a large placard, saying, "Hoshuku Tenchosetsu," buried in gorgeous chrysanthemums, with a huge Japanese flag and American flag crossing on top of the placard.

A stage, 25 by 50 feet, will be built inside the hall, with a curtain, purple and white in color, encircling the three sides of the stage. At back of the stage will be installed the Imperial Dais in which will be placed a photograph of the Emperor. The Imperial Dais will be graced with a vase of flower-arrangement by Mr. R. Baba, local instructor of the Japanese art.

4000 EXPECTED

Immediately after the completion of the formal part of the program, there will be an entertainment, given by various young people's organizations in this city. More thann 4000 people are expected to throng the auditorium to celebrate the occasion. In the morning, officials of the Japanese consulate here will observe the day with a service at the official residence of the Consul-General on Laguna and Washington streets.

Programs similar to that one to be given by the San Francisco Japanese are reported to be presented by residents in other Japanese communities in California on this Wednesday. Such reports have already been received from Sacramento, Stockton, Mt. View, Sonoma, Oakland, Marysville, Monterey, Fresno, San Jose, and other localities.

IN TOKYO

According to cable dispatches from Tokyo, Japan, the Emperor will attend a military review scheduled to be held at the Yoyogi training grounds on Wednesday morning. In the afternoon, the T.I.M. the Emperor and Empress will be hosts to high officials of the Japanese government and members of the consulate staff at a celebration banquet reported to take place in the palace.

All the schools in Tokyo and other business firms will observe the day with some sort of program, individually, in their respective schools and firms, it was said.

FORMAL PROGRAM

The following is the celebration program of the San Francisco Japanese. Mr. J. Koike, president of the San Francisco Japanese association will act as chairman.

1. Selections, Y.M.C.A. band.
2. Address, chairman.
3. Reading of the Imperial Edict, Y. Kanazawa.
5. Greetings, by S. Nakase, Japanese Chamber of Commerce; T. Takimoto, Japanese Association of America; Kaname Wakasugi, Japanese consul-general.
6. Tenchosetsu song, Japanese school children.
7. U.S. National anthem, audience.

ENTERTAINMENT PROGRAM

1. Japanese ceremonial dance.
2. Satsuma biwa, U. Kamiyama.
3. Dance, Y.W.B.A. members.
4. Gymnastics, American Y.M.C.A. boys.
5. Ladder pyramids, Pioneer boys of the Japanese Y.M.C.A.
6. Chikuzen biwa, K. Abe.
7. Odori, Miss Motoko Hino and her pupils.
8. Harmonica band, Tsuneo Fukushima and Toshio Suzuki.
9. Japanese instrumental trio.
10. Spring festival, Baby Echo and Little Echo clubs of the Japanese Y.W.C.A.
11. Odori, Miss Motoko Hino and her pupils.
12. Tap dancing, Campfire girls.
13. Dance review, Weston company.
14. Selections, Y.M.C.A. band.

Okei-san, the First Girl Immigrant

STORY CONCLUDED WITH HISTORY OF MASUMIZU

By H. M. I.

(Continued from Thursday)

THAT is all we know about this romantic Japanese immigrant girl, Okei-san; and that is all we know about this strange person, Matsudaira Snail.

We do not know much about the other immigrants who came with the Snail party, except two, for sure.

There is a burial ground for one Masumizu in Colusa, about 10 miles north of Marysville. Masumizu, it is believed, came to America with Okei-san and Matsudaira Snail as a carpenter. He married a Negro woman, who gave birth to three children, still living.

The existence of Masumizu's burial ground came to light in a strange way, according to Mr. Taketa of Sacramento.

One day many years ago, as Mr. Taketa was strolling along the streets of Sacramento, he overheard a handsome-looking Negro conversing with a Japanese in which he was bragging about the fact that he had Japanese blood in him. He called himself, "Masumizu."

Mr. Taketa's news sense told him that there was some good story here. He stopped and inquired about him and all he knew about his parents, during which interview, our correspondent descovered that his father, a Japanese, lived in Placerville at the time of the Gold Rush. He wrote the story in the paper.

Not very long afterwards, a reader of The Japanese American News in Colusa, sent a letter to the managing editor of the paper that there was an old broken down tombstone, with a faint inscription on the face of the stone saying, "Masumizu." This was later found to be Masumizu, the carpenter, who married a Negress and bore three children.

The three Japanese-Negro children, now grown up, are still living in Stockton, one of them engaged in tonsorial work.

The other Japanese immigrant, whom we know quite well, is one Yanagisawa, who came out to San Francisco after the failure of tea-planting in Placerville, to start a restaurant business. He is said to have been very successful in his new venture.

One of Yanagisawa's daughters is reported to be the first Japanese graduate from the University of California. She majored in medicine.

Later, Miss Yanagisawa married a dentist, and both are now residing in Tokyo, it is said.

As the writer was about to start writing this article Tuesday noon, Mr. Taketa called up from Sacramento saying that the Okei story is being read by the readers of English section in his city with keen interest, but there are several historical mistakes in the writing. This writer appreciates his help and criticism. He hopes to correct any mistakes in his articles in the future.

After the return of Mr. Shakuma Washizu from Japan, we will be able to get a new light on the life of Okei-san, and Matsudaira Snail. Mr. Washizu is a noted writer on the subject of the Japanese immigration to California. He recently sailed for Japan to collect more materials on Matsudaira Snail and his first Japanese immigrant party.

JUNIOR AND SENIOR SECTION

O, My! 'Scuse Auntie! Joy Ushio's a Boy Not a Girl!

'LO, EVERYBODY! Auntie is going to tackle the big pile of letters as fast as she can today. Let's see haw many letters she can answer today. Right. Let's start.

You all remember Betty Jane of San Juan Bautista, don't you? Well, you wondered and auntie wondered who she was. Well, today Betty Jane has whispered the secret in auntie's ears. Oh, of course it is a secret, so auntie can't tell you. But if you will write to Betty Jane in auntie's care, she will forward your letters to her. Right, family mine?

Here is Tomoe Mary Nishiyama of P.O. Box 168, Coyote, Calif. She says, "Cheerio, folks! How is you? Aw heck! I mean 'How are you.' (Just fine, Mary, and how are you?) Who? Me? I'm just fine.

"I wrote about ten copies of this letter. (Too bad, Mary. Next time just shoot it in the mail box as soon as you write it.) How old do you have to be to be a Senior? (Usually fourteen, Mary, or a Junior high student. But as far as auntie is concerned, you may have your choice, Mary. Masuko Hirozawa's address is Rt. 1, Box 170, Salinas, Calif., Mary.)

OOOOPS! Auntie has commited another social error! Nothing new, nieces and nephews mine, only.—It is a trifling bit embarrassing everytime it happens. "Joy Ueshio" writes posthaste to tell auntie that HE is not a girl and that his name is spelled Ushio. In fact, his full name is Joy Tsunehiko Ushio, he tells us. Auntie is always doing things like that. Remember? When our now famous Brownie first joined us auntie called him "her." Pardon us, Joy, we'll never commit another mistake like that, in your case at least.

"Aunt Mia, have you ever seen snow? That's all there is out here at the time of writing this letter. As the poets express it, it is beautiful. But they never had to feel too much of it. I detest it even if it is beautiful. And it's supposed to be spring. (Yes, Joy, auntie lived in a snow country for several years and she will never forget it. Of course, by the time spring comes one is pretty tired of it and wishes that the snows would melt and that the first snowdrops and yellow bells would start blooming between the patches of snow on the warm south hillsides. But, if you lived in a land where they never have snow, Joy, you would long for some snow just as auntie is doing right now. But cheer up, Joy, spring will soon be there with a pop, and —oh, what a spring it will be after all the snow! That's the nicest part of a spring after a long winter.)

Just to cheer you up, Joy, little Minnie Tsuji of 2724 West St., Oakland, Calif. is sending us a poem on spring. Here it is.

SPRING

Spring is here! Spring is here!
Sang the robin sweet and clear.
Happy little children dear,
Dancing far and near,
Don't you hear the robin gay
Singing sweetly on its way,
Spring is here! Spring is here!

'Isn't that a lovely spring poem, everybody? Auntie loved it. Thank you, Minnie.

Tom Iwasaki of San Martin, Cal., writes to tell us that his address is changed and is now Rt. 2, Box 234, San Martin, Cal. He says, "I don't think you'll know me because I did not write to you since you became our aunt, but I did not and never will miss readingour section. Have been reading our daily and weekly papers and am enjoying reading every bit of it. (Thank you, Tom. It's nice of you to say and do that. 'Course auntie would love to hear from you often but the next best thing to do would be to be with us every day in our columns as we chat and laugh by reading us, and auntie sees that you are doing that already.)

Here's Helene Yamanaka of Hollister, Calif. She says, "Busy? Bet you've got your poor little shoulders overflowing with letters. It's best tho', don't you think so, auntie? ('Course it's best, Helene. The more overflowing the letters, the more tickled auntie feels. And another thing, auntie's "poor little shoulders" are really big, fat shoulders, Helene, and the burdens just can't stay on them because they slide off the sloping, well padded, slippery said shoulders. Isn't that grand? For the last several dozen years in auntie's life many, many troubles, burdens, duties, and sorrows have come to sit on her shoulders and bother her, but they never could hold onto her fat shoulders. One by one they slide off. All auntie has to do is to wait for them to slide. Lots of you nieces and nephews mine, have burdens and troubles on your poor, thin shoulders. In our warm, cheery corner, let's laugh and make so merry that the burdens will be shaken off as we heave ourshoulders with laughter, shall we? Right, come on, happy family mine.)

Oh, dear! Look! Look at the end of the column. One of these days even that trouble will slide off our shoulders when we get a great big section of our own. But for the present,—'bye, family mine.

AUNT MIA.

Have You Burdens and Cares? Let's Laugh Them Off!